



平成27年7月30日

各 位

上場会社名 昭和電工株式会社
コード番号 4004 東証第1部
代表者 取締役社長 市川秀夫
問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
TEL (03) 5470 - 3323

第2四半期累計期間連結業績予想との差異、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年5月8日に公表しました平成27年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は、最近の業績動向を踏まえ平成27年2月12日に公表しました平成27年12月期通期連結業績予想を修正いたします。

記

1. 平成27年12月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異

(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成27年5月8日発表)	百万円 403,000	百万円 13,000	百万円 11,000	百万円 △2,000	円 銭 △1.40
今回実績(B)	396,980	16,109	15,500	1,280	0.90
増減額(B)－(A)	△6,020	3,109	4,500	3,280	
増減率(%)	△1.5%	23.9%	40.9%	－	
ご参考 前期第2四半期累計期間 (平成26年12月期)	413,384	10,533	7,201	△3,436	△2.30

2. 差異の理由

売上高は、石油化学セグメントはエチレン等の東アジア市況が前回予想を上回って推移したため前回予想比増収となりましたが、エレクトロニクスセグメントはハードディスクの出荷枚数が前回予想を下回り、総じて減収となりました。

営業利益は総じて増益となりました。石油化学セグメントは製品市況が好調に推移し大幅に増益となり、化学品、無機、アルミニウム、その他の各セグメントについてもそれぞれ増益となりました。一方、エレクトロニクスセグメントは、ハードディスクの出荷減に加えレアアース磁石合金では中国輸出税撤廃等による市況低下により棚卸資産の簿価切り下げが生じたこと等により前回予想を下回りました。

経常利益、四半期純利益については営業利益の増益を受けそれぞれ増益となりました。

3. 平成 27 年 12 月期連結業績予想の修正

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 27 年 2 月 12 日発表)	百万円 900,000	百万円 40,000	百万円 34,500	百万円 15,000	円 銭 10.50
今回修正予想(B)	825,000	40,000	37,000	10,000	7.00
増減額(B)－(A)	△75,000	0	2,500	△5,000	
増減率(%)	△8.3%	0.0%	7.2%	△33.3%	
ご参考 前期 (平成 26 年 12 月期)	876,580	20,915	22,102	3,500	2.38

4. 業績予想修正の理由

売上高は、石油化学セグメントでは数量は堅調に推移するものの、原料ナフサ価格の低下を受け販売価格が年初予想を下回って推移し、エレクトロニクスセグメントではハードディスクの出荷枚数が前回予想を下回る見込みです。その他セグメントでは昭光通商株式会社の中国鉄鋼関連取引が減少し減収を見込みます。

営業利益は、前回予想並みを見込みます。石油化学セグメントは東アジアの需給改善を受けたエチレンプラントのフル稼働に加え主要製品の輸出採算改善により増益を見込みます。化学品セグメントは半導体高純度ガスの堅調な出荷が続く見込みです。一方、エレクトロニクスセグメントは上期のハードディスクの出荷減、レアアース磁石合金の棚卸資産簿価切り下げの影響を下期で補えず、また無機セグメントも黒鉛電極事業が前回予想を下回る見込みです。

経常利益は、持分法投資損益、金融収支等の改善により増益を見込みます。

当期純利益は、主に第 1 四半期に計上した昭光通商株式会社の中国鉄鋼関連取引に関する貸倒引当金繰入額計上の影響を補えず減益となる見込みです。

以上

(ご参考) 平成 27 年 12 月期通期業績予想 セグメント別売上高、営業利益 (連結)

(単位：億円)

		平成 27 年通期業績予想 (連結)			前期実績 (H26. 1～H26. 12)
		前回予想 (H27. 1～H27. 12) H27. 2. 12 発表	今回予想 (H27. 1～H27. 12) H27. 7. 30 発表	増 減	
石油化学	売上高	2,620	2,480	△140	2,814
	営業利益	70	130	60	△49
化学品	売上高	1,530	1,450	△80	1,391
	営業利益	95	105	10	55
エレクトロ ニクス	売上高	1,490	1,380	△110	1,385
	営業利益	240	195	△45	258
無機	売上高	800	720	△80	676
	営業利益	40	15	△25	△3
アルミニウム	売上高	1,110	1,050	△60	980
	営業利益	25	30	5	30
その他	売上高	1,820	1,620	△200	1,950
	営業利益	10	5	△5	△7
調整額	売上高	△370	△450	△80	△430
	営業利益	△80	△80	0	△74
計	売上高	9,000	8,250	△750	8,766
	営業利益	400	400	0	209

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。